

流量計監視装置

医療現場のニーズに応える装置です！



紹介動画

概要

酸素流量計は、医療の場において、呼吸療法をはじめとし、重症患者に対して、生命維持装置である人工心肺等にも幅広く使用されています。その流量値は医療従事者が数時間毎に監視しているのが現状です。小児の人工心肺等に使用する場合は、数週間単位で微量な流量調整が必要になり、もし流量が停止すると分単位で致命的な結果に繋がってしまいます。

本研究で開発した酸素流量計は、流量計の内部に触れることなく、視覚表示、聴覚表示又は双方表示で、外部から流量の変化を監視することができます。

【実用性】

・ポンペが空になったことをお知らせ

浮き子が流量の上限値と下限値の範囲内にあることを常時監視し、流量の変化だけではなく、ポンペが空になった場合、瞬時にお知らせします。

・測定開始忘れ防止

発光部・受光部センサを上下に2対セットすることで、上下どちらのセンサが先に浮き子を捉えたかがわかるので、浮き子が上からきたか下からきたかがわかります。浮き子が監視測定範囲内から逸脱したと判断した場合、警報が作動します。

そのことから流量吹送開始前から電源を入れることが可能となり、吹送時の電源の入れ忘れを防止できます。

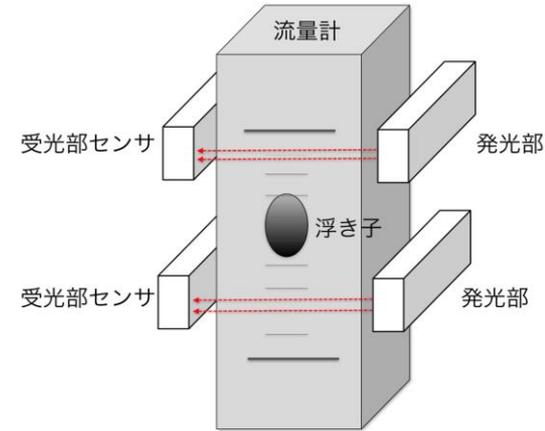
開発・製造・販売のパートナー企業様募集中

知的財産データ

知財関連番号 : 特許6933340
発明者 : 後藤 武、藤田 政樹
整理番号 : K23-018

【測定原理】

- ・発光部からの信号を受光部センサで受光している状態を正常とします。
- ・受光部において発光部からの信号が浮き子の変動によって遮られると異常と判断してアラームを作動します。



【監視風景】



お問い合わせ

本資料をダウンロード



お問い合わせ

<https://www.t-technoarch.co.jp/contact.html>



発明案件を随時更新中

<https://www.t-technoarch.co.jp/anken.php>



LinkedIn ページをフォロー

<https://www.linkedin.com/company/tohoku-techno-arch>



Leading you to Successful Industrialization



株式会社

東北テクノアーチ

TOHOKU TECHNO ARCH